

平成24年度第2回日本コーチング学会理事会議事録

日 時：平成24年8月22日(水) 12:30~13:00

場 所：東海大学1-M 301号教室

出席者：村木征人（会長）・佐川正人（副会長）・有吉正博（副会長）・葛西順一（理事長）・

野口智博（副理事長）・青山清英・具志堅幸司・鈴木淳也・野村照夫・長谷川聖修 以上10名

委任状提出者：11名

1 開会宣言（村木征人会長）

開会に先立ち、村木征人会長より挨拶があった。

2 議事録署名人として、佐川正人理事と鈴木淳也理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 関子浩二編集委員長よりコーチング学研究第26巻1号の編集状況について、現在7編の論文、特集「私のコーチング論」5名が掲載され、14編が査読中であることが報告された。また、これまでに33編の論文を査読し、採択率が85%、リジェクトが15%であることも併せて報告された。
- 2) 第24回学会大会事務局渡部和彦理事代理として野口智博庶務委員長より、3月15、16日に開催予定の第24回学会大会のプログラム素案が報告された。なお、直前に行われた体育方法専門領域理事会を受け、総会を16日に行うことと、大会テーマを「コーチ学」から「コーチング学」へ修正することとなった。
- 3) 野口智博庶務委員長より、学会ホームページの改訂に関する報告がなされた。
- 4) 葛西順一理事長より、前回理事会で決まっていた次期役員選挙方法について、直前に行われた体育方法専門領域理事会の決議を受け、体育方法専門領域との合同理事会の後、会長選挙と役員選出選挙を同時に行うように変更することが報告された。
- 5) 野口智博庶務委員長より、前述の変更を受けて、12月1日開催予定だった第3回理事会日程を延期することが報告された。

4 審議事項

- 1) 平成24年度第1回理事会議事録案は原案通り承認された。
- 2) 葛西順一理事長より、体育方法専門領域との組織統合に伴う会則・役員選出規定の改訂が提案された。前回理事会以降の修正について説明がなされた後、一部修正（英文名称の修正、理事長の体育方法専門領域理事長兼任の件）の上で承認された。なお、この会則は、当面の間、運用過程で問題が生じた際に適時修正することも確認された。
- 3) 野口智博庶務委員長より臨時総会議事について提案がなされ、承認された。
- 4) 塩野谷明学会大会委員長、丸山克俊国際交流推進委員長代理として野口智博庶務委員長より、第24回学会大会招聘講師案について提案がなされ、承認された。

5 閉会宣言（有吉正博会長）

日本コーチング学会 平成24年度臨時総会議事録

日 時：平成24年8月23日(木) 12:00~12:30

場 所： 東海大学 講義棟 1A-201号教室

1. 開会宣言 (葛西順一理事長)

2. 挨拶 (村木征人会長)

3. 議長団・議事録署名人の選出

議事に先立ち、議長団として大嶽真人氏(日本大学)が推薦され、承認された。また、議事録署名人として、大庭昌昭氏(新潟大学)、安井年文氏(青山学院大学)が推薦され承認された後、以下の審議がなされた。

4. 審議事項

(1) 平成23年度総会議事録確認の件

葛西順一理事長より3月に開催された平成23年度理事会の議事録について提案がなされ、原案通り承認された。

(2) 会則および役員選出規定新規設置の件

葛西順一理事長より、日本体育学会公益法人化にともなう、体育方法専門領域との組織統合とそれに伴う会則等の新規設置について、経緯説明等がなされた。その上で会則(案)および役員選出規定(案)の提案がなされ、原案通り承認された。

(3) 次期役員選出選挙の件

葛西順一理事長より、先に決定した役員選出規定に基づき、次期役員選出選挙については、9月19日(水)に体育方法専門領域および日本コーチング学会の合同理事会を開催し、会長候補3名を選出。その後、投票用紙を送付し、会長選挙および役員選出選挙を同時に行うとの説明がなされ、原案通り承認された。

5. 報告事項

(1) 編集委員会・コーチング学研究第26巻1号編集報告

編集委員長岡子浩二理事より、コーチング学研究第26巻1号の編集状況について、現在7編の論文、特集「私のコーチング論」5名が掲載され、14編が査読中であることが報告された。また、これまでに33編の論文を査読し、採択率が85%、リジェクトが15%であることも合わせて報告された。

(2) 次回学会大会報告

庶務委員長の野口智博理事より、第24回日本コーチング学会大会を3月15日(金)・16日(土)に、大会テーマを「指導現場に生かせるコーチング学」として、広島大学で行う予定であることが報告された。なお、次回総会を16日(土)に行う予定であることも併せて報告された。

(3) 庶務委員会報告

庶務委員長の野口智博理事より、学会ホームページの改訂に関して、学会名称の標記を当面の間「日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域」とし、ホームページもそれに伴い修正を加え、更に文献検索システムなども準備し、今年度中に新ホームページに移行を目指すことが報告された。

6. 閉会宣言 (有吉正博副会長)

平成24年度第1回日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 合同理事会議事録

日 時：平成24年9月19日(土) 15:00~17:00

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（体育方法・会長）・村木征人（コーチング学会・会長）・有吉正博（コーチング学会・副会長）
青山清英（体育方法・理事長）・葛西順一（コーチング学会・理事長）・
野口智博（コーチング学会・副理事長）・遠藤俊典・大嶽真人・佐藤秀明・塩野谷明・鈴木淳也・
高岡 治・野村照夫・長谷川聖修・丸山克俊・安井年文・渡部和彦 (17名)
委任状提出16名、未提出1名

1 開会宣言

開会に先立ち、朝岡正雄体育方法会長より、会費の見直しも含めて動き出さなければ分からないことが多々あるが、来年、再来年と円滑な運営になるよう、いろいろな問題点も含めてご意見をいただきたいとの挨拶があった。

2 議事録署名人として、長谷川聖修理事と鈴木淳也理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 野口智博コーチング学会庶務委員長より、平成25・26年度役員選出選挙候補者名簿の確認について、体育方法・コーチング両会の会員の被選挙権の確認ののち、1498名による被選挙者名簿を作成したことが報告され、確認がなされた。
- 2) 渡部和彦コーチング学会国際交流委員・本年度学会大会事務局より、学会大会準備進捗状況として以下の報告があった。
 - ・次期会長から、これまでの学会運営の経緯や、両会の組織統合後の展望等について「特別講演」としてお話をいただくよう企画している。
 - ・2日目には中国からの招聘講師による講演、学校体育関係の方を招いての企画も検討している。（後日、中国関係者が日本への出国ができない旨返答があったため、代替案として韓国からの講師による企画に変更された）
 - ・総会は16日に行う。（後日、諸事情を勘案し、15日となった）
 - ・理事会は合同理事会として15日昼に行う。
 - ・新理事会は15日の夕方（総会前）に行う。

4 審議事項

- 1) 青山清英、葛西順一両会理事長より、平成25・26年度会長候補選出について審議がなされ、有吉正博コーチング学会副会長、朝岡正雄体育方法会長、葛西順一コーチング学会理事長が選出された。
- 2) 青山清英、葛西順一両会理事長より、平成25・26年役員選出選挙管理委員会の設置について提案され、審議の結果、両会事務局（体育方法事務局：安井年文、遠藤俊典、コーチング学会事務局：野口智博、長谷川聖修、鈴木淳也）で構成されることとなった。
- 3) 野口智博コーチング学会庶務委員長より、会長選出選挙・役員選出選挙要綱等について提案があり、投票上の注意等、若干の修正ののち、承認された。
- 4) 野口智博コーチング学会庶務委員長より、開票実施要領について提案があり、上位者で得票数が同数だった場合、選挙管理委員会が抽選を行い順位決定することも含めて、承認された。

5 閉会宣言

村木征人コーチング学会会長より、組織統合後の運営詳細について、今後も引き続きいろいろとご指摘をいただきたいとの依頼があった。

平成24年度第2回日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 合同理事会議事録

日 時：平成25年1月26日(土) 13:00~14:00

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（体育方法・会長）・村木征人（コーチング学会・会長）・有吉正博（コーチング学会・副会長）
葛西順一（コーチング学会・理事長）・青山清英（体育方法・理事長）・
野口智博（コーチング学会・副理事長）・伊藤雅充・遠藤敏典・塩野谷明・鈴木淳也・中川 昭・
長谷川聖修・丸山克俊・安井年文・若吉浩二・渡部和彦 (16名)
委任状提出者13名

1 開会宣言 朝岡正雄体育方法会長より開会の挨拶があった。

2 議事録署名人として、塩野谷明理事と安井年文理事が選出された。

3 報告事項

1) 平成25・26年度役員選出選挙結果について、野口智博選挙管理委員長より開票結果と諾否確認結果について報告があった。

2) 平成24年度学会大会について、渡部和彦大会実行委員長より以下の通り報告があった。

① 発表申込み状況については、ポスター54題、コンパクトプレゼンテーション24題であった。

② 予稿集は紙媒体で配布することとなった。

③ 大会運営の担当者は、以下の通りとした。

大会名誉会長：浅原 利正学長（広島大）

大会会長：村木征人会長、朝岡正雄会長の記念講演座長：村木征人会長

韓国からの講師を招いての招待講演座長：丸山克俊国際交流推進委員長、伊藤雅充理事

シンポジウムのコーディネーター：平野裕二先生

ランチョンセミナー座長：長谷川聖修理事と塩野谷明理事

コンパクトプレゼンテーションの進行：初日は若吉浩二理事、二日目は野口智博理事

④ シンポジウムに関しては参加費無料とし、一般の方の聴講も募りたい。

なお、朝岡正雄会長より、初日のランチョンセミナーと理事会が重なってしまうため、理事会開催時間について再検討の要望があったため、理事会の時間変更を検討することとなった。

3) 野口智博庶務委員長より、学会ホームページがサイバー攻撃にあっていることが報告された。それに伴い、ジャンクメール処理作業中に正規の入会申し込みも削除してしまうケースが稀に起こってしまうため、近くにそのような声が上がった際には、直接事務局にメールを出していただくよう依頼があった。

4 審議事項

1) 平成24年9月に開催された合同理事会議事録は原案通り承認された。

2) 野口智博庶務委員長より、平成24年度コーチング学会の活動報告について、決算案作成と同様に例年通りのとりまとめ方式で行いたい旨の提案があり承認された。その結果、2月中に各委員会委員長より活動報告を収集することとなった。

3) 体育方法専門領域事務局の遠藤俊典理事より、体育方法会報第39号原稿入稿状況の報告があった。該当する方には31日までに入稿を済ませるようお伝えいただきたい。なお、短報については院生に依頼しているケースもあるので、指導教員の方からも確認していただきたい。

5 閉会宣言 村木征人コーチング学会会長より挨拶があった。

平成24年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 新理事の会理事会議事録

日 時：平成25年1月26日(土) 14:30~16:00

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（会長）青山清英・有吉正博・伊藤雅充・内山治樹・遠藤俊典・葛西順一・佐藤 徹・
中川 昭・野口智博・長谷川聖修・丸山克俊・村木征人・安井年文 (14名)
委任状提出者2名

1 開会宣言

朝岡正雄会長より、先般の選挙の結果、会長を務めることが報告され、以下の通り任期中の方向性について述べられた。

本年度から両組織が一体化し、1,800名の会員数となる。体育学会本体が、会員数6,000人を切る中でも相当な数になる。それによって事務局負担が大きくなる。例えば、6,000人の会員を持つ体育学会は4名の専任事務がいる。可能であれば本学会も、アルバイトの雇用や事務員の短期雇用により、事務局負担を軽減させたい。次に、この任期中にコーチング学の学問体系化を進めたい。これまでは学際研究の寄せ集めのような感じだったが、個別の学問領域、個別種目の分化を体育学会が行ったため、専門領域の統一が困難になってきている。コーチング学会は、個別の種目や多様な学問領域の人が集うので、様々な領域の人が協力して問題解決していく方向を探りたい。

ここ5~6年の間に本学会は活性化してきたが、さらに今後も活性化を目指して新しいスタートが切れるようご協力いただきたい。

2 議事録署名人として、長谷川聖修理事と遠藤俊典理事が選出された。**3 報告事項**

- 1) 平成25・26年度役員選出選挙結果について、野口智博選挙管理委員長より開票結果と諾否確認結果について報告があった。
- 2) 平成24年度学会大会について、先に行われた合同理事会において渡部和彦大会実行委員長より報告があった以下の件について、野口智博現庶務委員長より報告があった。
 - ① 発表申込み状況については、ポスター54題、コンパクトプレゼンテーション24題であった。
 - ② 予稿集は紙媒体で配布することとなった。
 - ③ 大会運営の担当者は、以下の通りとした。

大会名誉会長：浅原 利正学長（広島大） 大会会長：村木征人会長

朝岡正雄会長の記念講演座長：村木征人会長

韓国からの講師を招いての招待講演座長：丸山克俊国際交流推進委員長、伊藤雅充理事

シンポジウムのコーディネーター：平野裕二先生

ランチョンセミナー座長：長谷川聖修理事と塩野谷明理事

コンパクトプレゼンテーションの進行：初日は若吉浩二理事、二日目は野口智博理事

- ④ シンポジウムに関しては参加費無料とし、一般の方の聴講も募りたい。

なお、朝岡正雄会長より、初日のランチョンセミナーと理事会が重なってしまうため、理事会開催時間について再検討の要望があったため、理事会の時間変更を検討することとなった。

3) 野口智博現庶務委員長より、新理事会メーリングリスト作成することの報告がなされた。**4 審議事項**

- 1) 朝岡正雄会長より、平成25・26年度副会長、理事長、新事務局の選出について以下の通り提案がなされ承認された。

副会長：朝岡正雄会長の指名により有吉正博理事、葛西順一理事が推挙され、承認された。

理事長：互選の方法について、丸山克俊理事より会議欠席者の取り扱い等について意見があり、議論した結果、今回は出席者の無記名投票により決することとなった。その結果、満票により青山清英理事が新理事長となった。

事務局：朝岡正雄会長の提案により、庶務委員会委員長として野口智博理事に依頼し承認された。

2) 会長推薦理事について（会長）

青山清英新理事長より、会長推薦理事枠の拡大について提案があった。また、朝岡正雄会長より、各地域から、若い人材、女性の活用を考慮すると、現行の5名の推薦枠では不十分であると考えられる。そのため、現行の役員選出規定にある会長推薦枠を「5名」から「10名程度」と改訂し、理事総数も「30名程度」としたいとの補足説明があった。具体的なメンバーについては執行部で検討し、次回理事会を経て総会で提案することで承認された。

3) 平成25、26年度各委員会業務について、青山清英新理事長より以下の通り提案がなされ、人選を執行部で行うことも併せて承認された。

- ① 庶務委員会は、入退会管理、会計業務、理事会・総会等の案内、体育学会の連絡業務にあたってもらいたい。この2年間の会計と体育学会との連絡等の問題が出てくるため、この2年間の処理とタイムテーブルを提示し、理事会で共有したい。
- ② 編集委員会は、編集委員長を中心に、コーチング学研究の方向性を定めるような活動をしてもらいたい。学会賞・奨励賞に関することも編集委員会に依頼したい。また、現状抱えている査読中の論文が10編以上あることなどから、編集作業を他に移すのが困難なため、その辺の改善も含めてこの2年間は、編集事務局は日本大学で持つ。
- ③ 学会大会委員会は、学会大会にかかわる講師謝礼の受け渡し等、大会ホームページ作成や運営、大会予算執行等に係る業務や事務業務も含めた業務を行ってもらいたい。また、協賛金の獲得方法も学会大会委員会で見直し、新規開拓をしていただきたい。発表に係わる表彰事業なども大会委員会で検討し、実行していただきたい。
- ④ 企画委員会にはこれまでの実績を勘案し、以下の部門を置きたい。
 - ・学会大会企画 学会の研究の方向や継続性に見合った企画を立案し、大会事務局と連携をとりそれを行う。
 - ・研究企画 研究助成や共同研究の企画。
 - ・出版事業企画 現コーチング委員会からの継続。
 - ・国際交流企画 現コーチング委員会からの継続。

これまで、幹事は若干名として設置してきたが、次期役員では、各委員長指名で理事長が承認し、庶務2名、各委員会1名とする。なお、幹事は理事以外の人材で構成することが確認された。

- 4) 野口智博新庶務委員長より、平成25・26年度活動計画と予算案の作成方法について、新年度からはこれまでのフォーマットから、体育方法専門領域の予算・決算で作成していた書式に変更し、次年度の活動計画についても、それにともない事務局で作成することが提案された。丸山克俊理事から、事務局のアルバイト代増加や短期雇用等のことも見積もって予算を計上して欲しいこと。有吉正博現出版委員長から、現在企画進行している出版企画について、新理事会でも継続するよう活動計画に盛り込むことも含めて、承認された。
- 5) 遠藤俊典現体育方法事務局より、本年の日本体育学会の専門領域企画について、既に体育学会から提示を迫られており、期限が4月末である報告がなされた。そこで、今回に限り、新会長、新副会長、新理事長、新庶務委員長らですぐに企画委員長を人選し、早急に企画案をメールにて提案し、意見収集をすることで承認された。
- 6) 葛西順一新副会長より、委員会活動後の会議費などを、適正な範囲で捻出できるようにし、会運営のためのディスカッションをしたいとの申し出があり、承認された。
- 7) 丸山克俊理事より、他の学会で行っているように、事務局のメンバーや会長・理事長の大会出張費等を捻出できるようにとの申し出があり、その方向性については了承された。

5 閉会宣言

朝岡正雄新会長より、今後も様々な問題が出てくるかと思うが、皆さんのお知恵を拝借したいとの挨拶があった。

平成24年度 日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 現・新理事会議事録

日 時：平成25年3月15日(金) 13:00~14:00

場 所：広島大学・学士会館2F 会議室1

出席者：朝岡正雄（体育方法・会長）・村木征人（コーチング学会・会長）・有吉正博（コーチング学会・副会長）
葛西順一（コーチング学会・理事長）・青山清英（体育方法・理事長）・
野口智博（コーチング学会・副理事長）・伊藤雅充・植田恭史・梅林 薫・金高宏文・佐藤 徹・
塩野谷明・高岡 治・岡子浩二・鈴木淳也・野村照夫・長谷川聖修・丸山克俊・安井年文・
山崎一彦・若吉浩二・渡部和彦 (22名)
委任状提出者12名

1 開会宣言

村木征人現会長より、学会組織の新しい出発に備えてスムーズな運営となるよう、理事に対して協力の依頼があった。また、朝岡正雄新会長より、大人数の学会になるので運営は大変だが、理事の先生方に対し、協力いただきたいとの挨拶があった。

2 議事録署名人として、佐藤徹理事と岡子浩二理事が選出された。**3 報告事項**

- 1) 岡子浩二編集委員長より、コーチング学研究第26巻2号の編集進捗状況について、現在校正中であり、内容は特集「私のコーチング」1編、原著論文4編、研究資料2編、実践報告2編の計9編が掲載予定であり、また、体育方法専門領域会報との合本として、近日中に発刊されるとの報告がなされた。

4 審議事項

- 1) 青山清英新理事長より、臨時総会、平成24年9月合同理事会、平成25年1月合同理事会、新理事の会の議事録について提案がなされ、提案どおり承認された。
- 2) 体育方法専門領域平成24年度活動報告および決算について、安井年文体育方法専門領域現庶務委員長より報告がなされた。監査については3月31日が決算日となるため、本報告では2月28日までの段階での決算となっている旨、説明された。監査は本会議後に行われる旨周知され、そのことも含めて原案通り承認された。
- 3) 日本コーチング学会平成24年度活動報告について、野口智博日本コーチング学会現庶務委員長より報告がなされ、原案通り承認された。
- 4) 日本コーチング学会・日本体育方法専門領域平成25年度活動報告および予算案について、野口智博新庶務委員長より説明がなされ、原案通り承認された。また、伊藤雅充理事より、今年度および次年度の会費収入が減額することから、今後の収入の方向性について質問があった。朝岡正雄新会長は、向こう二年間は会費を2,000円にして、その後1,000円会費を上げると160万円収益が増える計算になる。この2年間の収支を熟慮した上で、どの程度会費を上げるのが適正かを検討しなければならない、その間、研究誌などを充実させ、値上げする会費に見合った充実した活動をしなければならないとの説明がなされた。また、同時に会の名称についても、現状のままだと競技スポーツ研究が主になってしまう印象が持たれ、学校体育の指導者や研究者が敬遠される可能性があることにも触れられた。丸山克俊理事より、あくまでも一例だが、出版事業を迅速に進めるなどして、学会の活動をPRしてもらいたいとの意見が出された。
- 5) 朝岡正雄新会長より、平成25・26年度推薦理事として5名の推薦の提案がなされ、原案通り承認された。
- 6) 青山清英新理事長より、前回の新理事の会において、役員選出規定改訂後に会長推薦理事を5名追加することとなった経緯について説明がなされ、原案通り承認された。また、総会においては、役員選出規定改訂を先に行い、その後追加理事の提案を行うことが確認された。
- 7) 青山清英新理事長より、平成25・26年度日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域役員所属委員

会について提案がなされ、原案通り承認された。

- 8) 長谷川聖修新庶務副委員長より、次回学会大会は平成26年3月に筑波大学で行いたいとの提案がなされ、原案通り承認された。また、野村照夫理事より、大会での企画として体罰問題などは取り上げる予定があるかとの質問があった。朝岡正雄新会長より、体罰問題以前の問題が部活動などにはまだあるため、もう少し生産的な論議の機会を設けなければならないと考えているとの回答があった。村木征人現会長からは、事態がまだはっきりしていない上に、柔道の様々な問題も急浮上している。体育学会の発表についてもまだ賛否両論ある。現状では積極的な発表には至らないが、次号の巻頭の挨拶の中でこの問題にも触れて対応しているとの回答があった。さらに、今大会実行委員の渡部和彦理事より、今回大会を引き受けた立場で、報道関係からいくつかの問い合わせがあったが、時期的に見解を出すには熟していない。しかし、何もしないわけにもいかないと考え、朝岡会長の記念講演で触れてもらうよう依頼し、NHK・中国新聞等の取材を受けることとしたとの経緯説明があった。葛西順一日本コーチング学会現理事長より、JOC、文科省、体育協会も競技団体に調査を依頼していて、指導者養成カリキュラムにも体罰禁止の旨を反映させるとのこと。それらがある程度固まってからの方が良いように思えるとの意見があった。丸山克俊理事より、現場の教育が衰退していることに対する自己批判の場も必要であり、本学会誌特集の「私のコーチング」を読んでも、体罰などに頼らず、相当いろいろと考えて指導をしている人も多い。そうした情報を、一般の方が手にとって読めるような書籍として世に発表してもらいたいとの意見があった。
- 9) 野口智博新庶務委員長より、総会議事について提案がなされ、原案通り承認された。
- 10) 葛西順一現理事長より、以下の通り学会賞・奨励賞選出したいとの提案がなされ、原案通り承認された。

学会賞（第7号）

著者名 平間康允・佐川正人

論文名 大学野球部における動機づけ雰囲気へのチームメイトの影響について
コーチング学研究第26巻第1号

学会奨励賞（第9号）

著者名 金堀哲也・川村 卓・松尾知之・朝岡正雄・山田幸雄・會田宏

論文名 我が国の指導書からみた野球の打撃指導における指導者の着眼点
～動作局面における指導対象部位に着目して～
コーチング学研究第25巻第2号

5 閉会宣言

朝岡正雄新会長より閉会の挨拶があった。

平成25年度第1回日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 理事会議事録

日 時：平成25年6月22日(土) 13:00~14:30

場 所：日本大学文理学部体育学科 会議室

出席者：朝岡正雄（会長）・青山清英（理事長）・曾田 宏・青木和浩・梅林 薫・大嶽真人・佐藤 徹・

凶子浩二・中川 昭・野口智博・野村照夫・長谷川聖修・丸山克俊・渡部和彦・

近藤克之（幹事・編集）・本道慎吾（幹事・庶務）

(16名)

委任状提出者13名

1 開会宣言

朝岡正雄会長より、これから組織統合後の様々な実務的な動きが活発になり、今理事会でも編集委員会からの投稿規定の改訂等がなされるが、益々活性化するよう尽力したいとの挨拶があった。

2 議事録署名人として、中川昭理事と梅林薫理事が選出された。

3 報告事項

- 1) 凶子浩二編集委員長より、コーチング学研究第27巻1号の編集進捗状況について、9月か10月までに発刊すること、現在10編が掲載可、6編が旧編集委員会で、2編が新編集委員会で審査中であることが報告された。また、本年3月に行われた学会大会でのシンポジウムなども特集として掲載する意向であることも併せて報告がなされた。
- 2) 曾田宏学会大会委員長より、日本体育学会第64回大会の体育方法専門領域発表プログラムについて、今回は新しい試みとして問題領域と研究手法を組み合わせでセッションを設けたことが報告された。
- 3) 佐藤徹企画委員長より、同学会大会の専門領域シンポジウムの要旨について説明がなされた。また、長谷川聖修庶務副委員長より、同大会専門領域ワークショップの要旨についても説明がなされた。
- 4) 佐藤徹企画委員長より、出版計画の進捗について、大修館書店との打ち合わせの結果、これまでの学会大会シンポジウム等の論議を受けて、一般コーチング理論を軸とした形式となるよう、企画内容を再考したいとの報告がなされた。
- 5) 渡部和彦企画委員より、アジアコーチング学会が2014年7月11日~13日の間、北海道大学にて行われることが報告された。以後、二年に一度の頻度で定期開催する見込みであるとのことであった。

4 審議事項

- 1) 渡部和彦前回学会大会実行委員長より大会決算報告がなされたが、いくつかの修正点があったため、修正の後再度監査を行った上で体育学会大会の理事会にて再度報告することとなった。
- 2) 凶子浩二編集委員長より、コーチング学研究「投稿規定」および「投稿の手引き」「審査内規」の、論文種別などの改訂についての詳細な説明がなされ、改訂が承認された。その結果、8月の体育学会理事会までに再度調整し、同大会にて行われる体育方法専門領域総会にて提案することとなった。また、総会にて投稿規定等の改訂が承認された場合、9月発刊予定の学会誌送付の際に、投稿規定変更についての説明を同封することや、学会ホームページでも告知することとなった。
- 3) 青山清英理事長より、各学会の法人化についての調査経緯と本学会の方向性について説明がなされた。また、併せて野口智博庶務委員長より、体育学会事務局への問い合わせの結果も報告された。朝岡正雄会長からは、体育学会の現状についても説明があり、最終的に法人化検討委員会を設置することと、庶務委員会での人選を行うことが提案され、承認された。また、青山清英理事長より、その検討委員会には、来年3月のコーチング学会大会の総会において中間報告を行うよう依頼があった。
- 4) 長谷川聖修庶務副委員長より、第25回大会日程について、会場は筑波大学で、2014年3月16日(日)、17日(月)に開催したいとの提案がなされ、承認された。内容についてはこれから詰めていくこととなった。

5 閉会宣言

朝岡正雄会長より閉会の挨拶があった。

日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域 平成24年度総会議事録

日 時：平成25年3月15日(金) 17:00~18:30

場 所：広島大学 サタケメモリアルホール

1. 開会宣言（青山清英理事長）

2. 挨拶（朝岡正雄会長）

3. 議長団・議事録署名人の選出

議事に先立ち、議長団として青山清英氏（日本大学）が推薦され、承認された。また、議事録署名人として、関子浩二氏（筑波大学）、大庭昌昭（新潟大学）が推薦され承認された後、以下の審議がなされた。

4. 審議事項

(1) 平成24年度総会議事録確認の件

青山清英理事長より前回総会議事録について提案がなされ、原案通り承認された。

(2) 役員選出規定の改訂について

青山清英理事長より、役員選出規定の会長推薦理事枠の改訂について提案がなされ、原案通り承認された。

(3) 平成25、26年度役員選出の件

青山清英理事長より、平成25、26年度日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域役員について提案がなされ、原案通り承認された。

(4) 安井年文日本体育学会体育方法専門領域庶務委員長より、平成24年度日本体育学会体育方法専門領域事業報告と決算報告がなされ、原案通り承認された。

(5) 野口智博日本コーチング学会庶務委員長より、平成24年度日本コーチング学会事業報告と決算報告がなされ、原案通り承認された。

(6) 野口智博日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域新庶務委員長より、平成25年度事業計画および予算について提案がなされ、原案通り承認された。

5. 報告事項

(1) 編集委員会・コーチング学研究第26巻2号編集報告

編集委員長関子浩二理事より、コーチング学研究第26巻2号の編集状況について、4編の原著論文、実践研究2編、研究資料2編が掲載され、特集「私のコーチング論」も掲載されることが報告された。

6. 閉会宣言（葛西順一副会長）

平成24年度事業報告

庶務委員会（野口智博委員長）

- 1 データベースの一元化（ホームページから、各自の会員情報変更手続きなどが行えるようにする）については、本年度は実現しなかったが、WEB上から過去の学会誌を閲覧できるシステムを構築中。
- 2 ジャンクメール処理にかかる人件費が見積りより増えてしまった。

編集委員会（岡子浩二委員長）

- 1 機関誌「コーチング学研究」第26巻1号を発刊した。
- 2 機関誌「コーチング学研究」第26巻2号は発刊予定。
- 3 投稿規定の変更（論文種別の見直し）は検討に至らなかった。

将来構想委員会（葛西順一委員長）

昨年臨時総会にて、体育方法専門分科会との合併に関わる会則や役員選出規定等の改訂を行った。

国際交流推進委員会（丸山克俊委員長）

平成23年度学会大会に台湾よりChen氏を招へいし、充実した情報交換がなされた。また、24年度大会は韓国よりTae -Won JUN氏を招聘予定。

出版委員会（有吉正博委員長）

「学会創設20周年記念誌（仮称）」については検討することができなかった。

「コーチングのすべて（仮称）」の出版内容についてはある程度の骨子ができたが、筆者選定などには至らなかった。

学会大会委員会（塩野谷明委員長）

日体大会は成功裡に終えることができた。ポストプロシーディングスは作成に至らなかった。広島大会は渡部和彦国際交流副委員長の指揮のもと、昨年中から鋭意準備が行われ、開催に至った。

次年度大会は新役員のもとに開催場所の検討に入るが、現段階では筑波大が候補として挙がっている。

専門分科会連携委員会

昨年臨時総会にて、体育方法専門分科会との合併に関わる会則や役員選出規定等の改訂を行った。

平成24年度 日本コーチング学会決算報告

<収入の部>

費 目		予 算	数	決 算	数(決算時)
1. 繰越金		7497843		7497843	
2. 会費	会費収入	3,420,000		3,602,000	
(内訳)	正会員(継続者)	3,000,000	600	2,885,000	577
	正会員(入会者)	150,000	30	200,000	40
	学生会員	60,000	30	108,000	54
	賛助会員	210,000	7	270,000	9
	前年度会費未納分(正会員)			135,000	27
	前年度会費未納分(学生会員)			4,000	2
	前年度会費未納分(賛助会員)			0	0
3. 大会参加費	別会計で処理				
4. 雑収入(利子、機関誌販売など)		6,000			
合 計		10,923,843		11,099,843	

<支出の部>

費 目		予 算	決 算	備 考
1. 事務局運営費(庶務委員会)	合計	997,160	1,563,999	
内訳	1)事務用品	70,160	27,603	
	2)通信・郵送費	100,000	24,580	
	3)会費振替手数料	100,000	108,045	
	4)会員データベース構築費	50,000		
	5)会員データおよびホームページ保守費用	150,000	336,000	
	6)理事会会議費(交通費・弁当代など)	245,000	248,390	
	7)謝金(事務局アルバイト代)	162,000	304,000	
	8)学術団体登録	20,000	20,525	
	9)雑費	100,000	494,856	
2. 事業費				
(1)学会大会委員会	合計	980,000	1,087,000	(別会計で監査)
内訳	1)本部補助			
	2)会場費	50,000		
	3)印刷費	350,000		
	4)学会賞・奨励賞授与(学会賞・奨励賞選考)	50,000	63,000	
	5)通信費	30,000		
	6)会議費(交通費を含む)・昼食費	400,000		
	7)アルバイト代	50,000		
	8)予備費	50,000		
(2)編集委員会	合計	1,489,000	1,314,851	
内訳	1)コーチング学研究第25巻2号	519,750	443,400	
・機関誌発刊	發送立替代(メール便)	69,750	59,136	
	2)コーチング学研究第26巻1号	519,750	499,800	
	發送立替代(メール便)	69,750	61,085	
	3)事務経費	50,000		
	4)郵送費	100,000	101,430	
	5)封筒代金	0		
	6)査読料	60,000	54,000	
	7)編集作業アルバイト代	100,000	96,000	
(3)国際交流推進委員会		400,000	173,340	
	1)渡航費	100,000	173,340	
	2)滞在費	40,000		
	3)謝 金	80,000		
	4)接待費	30,000		
	5)諸雑費	50,000		
	6)会議費(交通費を含む)	100,000		
(4)出版委員会		150,000	0	
	1)会議費(交通費を含む)	100,000		
	2)雑費(委員会作業に係る事務用品等を含む)	50,000		
3. 予備費		6,907,683	6,960,653	
支出合計		4,016,160	4,139,190	
(予備費を含めた合計)		10,923,843	11,099,843	

繰越金額 11,099,843 - 4,139,190 = 6,960,653

監査の結果、上記の通り適正であると認める。

平成25年3月1日

川井 昂 

監事

滝澤 かのり 

日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域
平成25年度事業計画

庶務委員会

- 1 組織統合に関する事務処理および平成27年度以降の会費再設定の検討
- 2 学会ホームページの整理・充実化

編集委員会

- 1 機関誌「コーチング学研究」第27巻1号の発刊
- 2 機関誌「コーチング学研究」第27巻2号の発刊
- 3 投稿規定の変更（論文種別の見直し）

学会大会委員会

次年度大会は筑波大学で行う予定。企画詳細は検討中。

将来構想委員会

次年度からの体育方法専門分科会との合併に関わる会則や役員選出規程等の改訂作業

企画委員会

国際交流推進：コーチング教育の国際情報収集のための活動

出版：「コーチングのすべて（仮称）」の出版内容の検討およびタイムスケジュール作成，筆者選出など。

「学会創設20周年記念誌（仮称）」の出版内容の検討およびタイムスケジュール作成，筆者選出など

日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域
平成25年度予算

収入

項目	平成25年度予算額	備考
繰越金	13,871,206	コーチング学会繰越金：6,960,653円 体育方法繰越金：6,910,553
体育学会補助	230,000	
会費	3,130,000	コーチング学会会員：337名 体育方法専門領域会員：1,228名
学生会員	100,000	50名×2,000円
賛助会費	270,000	30,000円×9社
利子	15,000	
選挙経費	0	
収入計	17,616,206	
(予備費を除いた収入)	3,745,000	

支出

項目	平成25年度予算額	増減	備考
事務経費	200,000		
学会誌発行	3,000,000		学会誌第26巻2号、第27巻1号兼会報40号 印刷・発送費(単価693円×1,650冊+送料)
通信費	400,000		情報発送・事務局連絡通信費
シンポジウム等開催	300,000		第64回立命館大学
大会費	1,300,000		学会連携による分科会研究会
研究補助金	300,000		助成数3件程度を目安として
表彰	150,000		最優秀賞1、優秀賞5、奨励賞6
旅費	500,000		理事会旅費2回分+事務局員大会旅費
会議費	300,000		理事会、将来構想委員会など
アルバイト謝金	500,000		事務局運営に関わるアルバイト代
HP管理運営費	500,000		レンタルサーバ、ドメイン等
選挙実施経費	0		25年度はなし
雑費	50,000		
予備費	100,000		
支出計	7,600,000		
平成25年度収入－支出	-3,855,000		
繰越金(=収入－支出)	10,016,206		

論文審査委員

青山 清英 (日本大学)	若吉 浩二 (びわこ成蹊スポーツ大学)
安藤真太郎 (筑波大学)	米沢 利広 (福岡大学)
上條 隆 (群馬大学)	中西 康己 (筑波大学)
川村 卓 (筑波大学)	高橋 正則 (日本大学)
塩野谷 明 (長岡技術科学大学)	三浦 健 (鹿屋体育大学)
凶子 浩二 (筑波大学)	伊藤 雅充 (日本体育大学)
田中 誠二 (新潟大学)	船渡 和男 (日本体育大学)
中川 昭 (筑波大学)	伊藤 博一 (帝京平成大学)
松元 剛 (筑波大学)	石上 秀昭 (日本体育大学)
道上 静香 (滋賀大学)	河合 季信 (筑波大学)
古川 拓生 (筑波大学)	水落 文夫 (日本大学)
佐伯 徹朗 (日本女子体育大学)	長谷川聖修 (筑波大学)
本間三和子 (筑波大学)	

2013年度日本コーチング学会・日本体育学会体育方法専門領域

● 大修館書店

<http://www.taishukan.co.jp/>

● 株式会社サス・スポーツプロダクト

<http://www.sas-sports.co.jp/>

● ILS株式会社

<http://www.ils.co.jp/>

● 株式会社ディケイエイチ

<http://www.dkh.co.jp/>

● 株式会社文成印刷

<http://www.bunsei.com>

● NPO 法人日本Gボール協会

<http://www.g-ball.jp/>

● あどあど

<http://www.adad.be/>

● 株式会社フォーアシスト

<http://www.4assist.co.jp/>

● 株式会社ベルテック・ジャパン

<http://www.bertec.co.jp>